1　国語

学校番号	１００８

令和３年度　国語科

教科	国語科	科目	現代文Ｂ	単位数	２	年次	３年前期
使用教科書	精選現代文Ｂ　改訂版（筑摩書房）						
副教材等	即戦ゼミ「新国語問題総演習」（桐原書店）　他						

1　担当者からのメッセージ

私たちは言葉を使ってものを考えたり感じたりします。その言葉を豊かにして日本語を自在かつ的確に使いこなす力をつけてほしいと考えます。現代文Ｂでは、近代以降のさまざまな文章に幅広く触れながら、ものの見方、感じ方、考え方を深めましょう。多くの作品と出会うことで、「読む能力」だけではなく、コミュニケーションのための「話す・聞く能力」や、自分の意思を伝えるための「書く能力」を高めることをめざします。そして表現したり、読書したりすることで、人生を豊かにする経験を積んでほしいと思います。

2　学習の到達目標

・論理的な文章を読んで、論理の展開や社会的な背景について理解する。
・文学的な文章を読んで、構成や登場人物の生き方・その背景などを理解する。
・目的や場にふさわしい語句を選んで、適切に思いや考えを表現することができる。
・言語感覚を磨き、論理的な思考力、豊かな想像力を場面に応じて活用することができる。
・伝統的な言語文化に対する関心を持ち、国語を尊重する態度を育む。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
主たる評価方法	行動の観察 記述の点検 （ノート、ワークシート等）	行動の観察 （発表等のパフォーマンスの評価）	記述の確認及び分析（ワークシート、原稿用紙）	記述（要約・意見文・感想）のワークシートなどの評価・確認 定期考査	行動の観察 記述の確認 （ノート、ワークシート等） 定期考査 小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、前期末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
前期	評論	教材:近代の成立―遠近法	○	○		◎	○	a:筆者の考えや論の進め方を的確に捉えようとしているか。 b:「遠近法」以前と以後の絵画作品を調べ、その特徴を話し合うことができるか。 d:「遠近法を貫く合理的な態度」とはどのようなことか理解しているか。「主／客図式」という図式を理解しているか。 e:近代の特徴としての「主／客図式」を理解し、近代～現代社会のあり方について視野を広げることができたか。	a、b:行動の観察、記述の点検 d、e:記述の確認及び定期考査
	評論	教材:「自然を守る」ということ	○		○		◎	a:内容に関心を持っているか c:文を三段落に分け小見出しをつけ要約することができるか。 e:「人間」と「自然」の関係、「自然保護」はどのような背景に基づいた思想であるか理解できているか。	a:行動の観察、記述の点検 c:記述の確認と分析 e:行動の観察、記述の確認
	小説	教材:「舞姫」	○	◎	◎	◎	○	a:擬古文的な文章を読み、理解しようとする態度があるか。 b:朗読を通して、表現を味わい、人物の心情や情景を把握することができたか。 c:豊太郎とエリスの破綻について考えたことを、自分の言葉でまとめることができたか。 d:人物、情景、心情、時代背景などを捉え、人物やその行動を理解しようとしている。 e:文章の形態や作者が主人公に仮託した思いを理解できているか。	a:行動の観察、記述の点検 b:行動の観察 c:記述の確認、分析 d、e:記述の確認と分析及び定期考査
	評論	教材:身体この遠きもの	○			◎	○	a:身体と意識の関係や教材の内容に関心を持っているか。 d:「わたし」が「身体を持つ」と「身体である」との違いを理解しているか。 e:「身体」と「わたし」の関係、「身体」と「空間」「時間」の関係を理解することができたか。	a:行動の観察、記述の点検 d、e:記述の確認と分析及び定期考査
	評論	教材: つながりと秩序	○			◎	○	a:教材の内容に関心を持っているか。 d:本文の要旨をまとめることができるか。	a:行動の観察、記述の点検 d、e:記述の確認

								e：「つながりの社会」「秩序の社会」とはどのようなことか／「ケータイ」によって「第三の領域」はどのように変化したか理解しているか。	と分析及び定期考査
	評論	教材:「陰影礼賛」	○	◎		◎	○	a：「陰影」が生み出す文化について関心を持っているか b：朗読を通して、表現上の特色を理解し、文章の展開や要旨を的確に捉えているか。 d：テキスト以外のさまざまな日本文化論と比較し、社会や文化について考えをまとめることができるか。 e：筆者独特の表現と思われる個所を確認し、その表現効果について理解することができるか。	a:行動の観察、記述の点検 b:行動、発表、質疑応答の観察 d、e:記述の確認と分析及び定期考査
	評論	教材:「『である』ことと『する』こと」	○			◎	○	a：丸山真男や、教材について関心を持っているか。 d：各章のまとめを通して、筆者の論理展開を確認し理解を深めることができるか。 e：日本社会が抱える矛盾点と筆者の提言を理解しているか。	a:行動の観察、記述の点検 d、e:記述の確認と分析及び定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力　c:書く能力
d:読む能力　e:知識・理解

※　評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて○印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）に関わる観点には◎を付している。